

現代の理論・社会フォーラム経済分析研究会

第32回研究会のご案内

金融政策はどこへ行くのかー主要国 中銀の『出口』と日銀

日本銀行の「異次元緩和」は、目標の物価上昇率 2%が達成できないまま経過、国債や株式など日銀の保有資産が膨らみ、副作用が問題視されています。金融正常化に向けた「出口」戦略が問われるのですが、日銀内ではその議論が行われている形跡がありません。他方でアメリカの FRB（連邦準備制度理事会）やユーロ圏の ECB（欧州中央銀行）は量的緩和の縮小を進め、アメリカでは金利を上げてきました。ところが、昨年末あたりから世界経済が下降し始めたことで、FRB は金利引き上げをストップ、ECB も再び緩和方向に舵を切る構えを見せています。こうした情勢の変化で日銀の今後の動向がされています。

今回は日本だけでなく欧米の中央銀行の金融政策に詳しい専修大学経済学部教授の田中隆之氏に、量的緩和と出口戦略の現状と行方、主要國中銀が直面する諸問題について論じていただきます。

皆様方のご出席をお待ちしております。

- ◎日時 **7月13日（土）14時～17時**
- ◎場所 **専修大学神田校舎1号館12階社会科学研究所会議室**
- ◎講師 **田中 隆之氏（専修大学経済学部教授）**
- ◎資料代 **500円**

※講演終了後、講師を交え懇親会を行う予定です。

田中 隆之氏のプロフィール

専修大学経済学部教授。専門は財政金融政策、日本経済論。博士（経済学）。1957年長野県生まれ。東京大学経済学部卒、日本長期信用銀行産業調査部、同調査部ニューヨーク市駐在、長銀総合研究所主任研究員、長銀証券投資戦略室長チーフエコノミスト、専修大学専任講師などを経て、2001年より専修大学経済学部教授。この間、2012～13年ロンドン大学（SOAS）客員研究員。著書に『現代日本経済ーバブルとポスト・バブルの軌跡』（日本評論社、2002年）、『金融危機にどう立ち向かうかー「失われた15年」の教訓』（ちくま新書、2009年）『アメリカ連邦準備制度（FRS）の金融政策』（金融財政事情研究会、2014年）など多数。



お問い合わせは現代の理論・社会フォーラム事務局
TEL 03-3262-8505
E-mail: nc@keizaiken.sakura.ne.jp まで

経済分析研究会

検索